

2024年12月2日

各位

会社名 パナソニック ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役 社長執行役員 楠見 雄規  
(コード番号 6752 東証プライム・名証プレミア)  
問合せ先 経理財務・IR部 部長 和仁古 明  
(TEL. 06-6908-1121)

**(開示事項の経過)パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社の  
株式譲渡完了について**

2024年3月29日に公表しました「パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社の株式の譲渡に関する株式譲渡契約及び株主間契約の締結について」において、株式譲渡実行日を「2024年度末まで(予定)」としておりましたが、本日、株式譲渡を実行し、当社は添付のとおり発表をいたしましたので、お知らせします。

なお、本日をもって、パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社(以下、PAS)は当社の連結子会社ではなくなり、PASの親会社の持株会社であるStar Japan Holdings株式会社(以下、本持株会社。本持株会社の孫会社となるPASを含む)は、当社の持分法適用会社となります。また、本件につき、今後、2025年3月期連結業績予想に重要な影響が判明した場合には、速やかにお知らせします。

添付資料:

「パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社の株式譲渡手続き完了に関するお知らせ」

以上

2024年12月2日

## パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社の 株式譲渡手続き完了に関するお知らせ

パナソニック ホールディングス株式会社(以下、「PHD」)は、2024年3月29日付「パナソニック ホールディングス株式会社と Apollo によるパナソニック オートモーティブ株式会社の株式譲渡契約および共同持株会社設立に関するお知らせ」にて公表していましたが Apollo Global Management Inc.をはじめとするアポロ・グループ(以下、「Apollo」)と PHD が、パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社(以下、「PAS」)の事業において戦略的共同パートナーとなることを目的とした株式譲渡契約及び株主間契約にもとづき、本日、株式譲渡の手続きが完了したことをお知らせします。

一連の取引を通じて、PHD が 100%保有する PAS の全株式を Apollo が投資助言を行うファンドが間接的に保有する Star Japan Acquisition 株式会社(以下、「新 PAS 親会社」)が取得し、PHD は新 PAS 親会社の持株会社である Star Japan Holdings 株式会社(以下、「本持株会社」)の株式の 20%を取得することとなります。今後は、PHD と Apollo は戦略的共同パートナーとして、それぞれの持つ経営資源、オートモーティブ業界に関する知見、技術や専門的ノウハウ、グローバルなオートモーティブ関連企業に対する投資経験やネットワークを活用し、PAS の更なる成長を目指していきます。

なお、PAS は今後も引き続き「パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社」の社名で事業を継続し、PHD は引き続き、共通の経営理念を持つパナソニックグループの一員として PAS を支援しお互いの企業価値最大化に向けて他グループ各社と共に連携を図っていきます。

以上

### パナソニック ホールディングス株式会社について

1918年に松下幸之助が松下電気器具製作所を設立・創業。株式会社組織となった1935年以降、松下電器産業株式会社、パナソニック株式会社への社名・体制変更を経て、2022年4月1日にパナソニック ホールディングス株式会社を持株会社とする事業会社制(持株会社制)へ移行しました。2023年度のグループ連結売上高は8兆4,964億円で、グローバルに事業を展開しています。

URL:<https://holdings.panasonic.jp/corporate/about.html>

## Apollo について

Apollo は、高成長を続けるグローバルなオルタナティブ資産運用会社です。当社の資産管理ビジネスでは、投資適格クレジットからプライベート・エクイティまでリスク・リターンスペクトラムのあらゆる分野で超過収益を創出することを目指しています。Apollo は 30 年以上にわたり、統一されたプラットフォームを活用した専門知識によって顧客のニーズに応え、且つ投資先企業の成長を支援する革新的な資本ソリューションを提供してきました。また、リタイアメント・サービス事業であるアテネは、退職貯蓄サービスのソリューション・プロバイダーとして、顧客の経済的な安定の実現を支援しています。Apollo の忍耐強く、創造的で知識豊富な投資アプローチは、顧客、投資先企業、従業員、コミュニティにとってよりよい結果を達成するためにアライメントを有しています。2024 年 9 月 30 日現在、Apollo の運用資産額は約 7,330 億ドルとなっています。

URL: <https://www.apollo.com/>、[www.apollo.com/japan](https://www.apollo.com/japan)

## パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社について

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社は、2022 年 4 月 1 日、パナソニックグループの事業会社制スタートに伴い、車載事業を担う事業会社としてスタートし、2024 年 12 月 2 日から、株式の 80%を Apollo Global Management, Inc.の関係会社が投資助言を行うファンドが、20%をパナソニック ホールディングス株式会社が保有する経営体制に移行しました。当社は、日本を本社とし、海外 8 カ国に傘下子会社を有するグローバル企業です。Tier1として、国内外の自動車メーカーに、インフォテインメントシステムをはじめとするパナソニックならではの先進技術を提供し、快適で安全・安心な車づくりに貢献しています。企業ビジョンである、世界一の「移ごちデザイン」カンパニーを掲げ、人に寄り添う技術で世界のお客様のご期待にお応えします。

URL: <https://automotive.panasonic.com/>